



未来のロータリー財団

ロータリー・クラブでのプレゼンテーション用

スライド1

以下のスライドおよび付随のノートは、未来の夢計画と3年間の試験段階についてクラブに説明する際に、地区が使用することを目的として作成されたものです。2010年7月1日から2013年6月30日までの試験段階では、選ばれた約100地区が、新しい補助金モデルを試行します。

スライド2

未来の夢計画は、

- ロータリー財団の長期計画です。
- 財団がクラブと地区に補助金を提供する新しいアプローチです。
- ポリオ・プラス、保健・飢餓追放・人間的尊重 (3-H) 補助金、国際問題研究のためのロータリー・センターなどに見られる財団プログラムのこれまでの成果に基づき発展させる方法です。
- 世界中で実施される社会奉仕プロジェクトの整合性が保たれます。
- 地区レベルとクラブ・レベルにおける財団活動を担当する委員会の新しい構成と組織方法です。

スライド3

ロータリー財団の未来の夢では、ロータリー・クラブが重要な役割を担います。

- クラブは、未来の夢計画について学び、新しい補助金モデルを試行するために地区が試験段階（パイロット）に参加することを支持するかどうかを表明するよう奨励されています。
- 試験地区内のクラブは、人道的活動や教育的活動のための補助金を申請するものと期待されています。
- 試験地区ではない地区のクラブは、引き続き現行の財団プログラムを利用しますが、この間、試験段階の進展について常に最新情報が伝えられます。

スライド4

ロータリー財団は、ロータリーの慈善部門です。

ロータリー財団の標語は「世界でよいことをしよう」です。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

スライド5

過去20年間を見ると、地元や海外での人道的ニーズや教育的ニーズに取り組むためにロータリアンがロータリー財団からの支援に頼る傾向が年々強まっています。

ロータリアンからの財団への惜しみない寄付が増えると同時に、人道的・教育的ニーズに取り組むさまざまな方法がロータリアンから提案され、その結果、ロータリー財団は新しいプログラムを提供してきました。

このようなプログラムの発展の例として、1979年の保健、飢餓追放、人間性尊重 (3-H) 補助金の創設、そして過去10年間にマッチング・グラントが急成長したことが挙げられます。現行の地区補助金は、2003年に創設され、クラブが地元地域や海外でプロジェクトを行うために、地区が直接クラブに補助金を配分する方法として人気を集めました。

しかし、優れた功績が国際的に認知され、ゲイツ財団からロータリー財団への合計3億5,500万ドルの補助金をもたらし、政府や非政府団体 (NGO) からの支援や資金提供を促進させることになったのは、ロータリーが集中的に力を注いできたポリオ撲滅活動でした。

一方、教育的プログラムと人道的プログラムの分野では、活動が増えたため、活動の焦点を絞り、大きな影響と持続可能な成果をもたらすことがますます難しくなると同時に、手続きに時間がかかるようになりました。補助金申請数の増加に合わせて、財団の業務の手続きがさらに複雑かつ膨大になり、効率も悪くなりました。もっとわかりやすく、効果的な財団になってほしい、また、過去30年間の経験から学んだ教訓を生かしてもっと発展していくべきだ、という要望の声は、ロータリアンから聞かれるようになりました。

スライド6

調査やフォーカスグループ (座談会) に参加した世界中の何万人というロータリアンからの意見を基に、未来の夢計画の目的は、以下のように定められました。

- もっと大きなクラブ・プロジェクトの成果を受益者にもたらす
- 補助金活動を全般的に焦点を絞ったものにする
- これまで以上に決定権を地元委ねる
- 財団の資金とロータリーのリソースを最大限に生かすため、組織レベルで他団体と協力する
- 補助金手続きを迅速に処理するために、財団を簡素化する
- 地元と海外におけるロータリーの存在感とイメージを高める

スライド7

未来の夢の主な目的は、ロータリアンが実施するプロジェクトと活動の影響力を高めることです。

グローバル補助金は、持続可能な成果を生むプロジェクトを支援するものです。これによって、ロータリアンは、受益者に大きな影響を与えるプロジェクトを開発することができるようになります。こうしたプロジェクトは、ほかのクラブや地区と協同で実施されます。

スライド8

グローバル補助金によって、ロータリアンは、財団の使命声明および財団資金を用いて多く実施される活動の種類に基づいて定められた6つの重点分野におけるニーズに取り組むプロジェクトを開発することができます。財団は、6つの重点分野に関連してクラブや地区が立案した持続可能で大規模なプロジェクトに対し、資金を上乗せして援助します。また、パッケージ・グラントという形で、重点分野を取り上げた既成の活動にクラブと地区が参加するための資金を全額支給することもできます。

スライド9

また、未来の夢には、補助金に関する決定権を、財団からクラブと地区レベルに移行するという目的があります。

地区は、新地区補助金を地元レベルで管理します。財団は、年度開始時に、新地区補助金を一括で地区に支給します。その後、地区は、地元もしくは海外で、人道的プロジェクトや教育的活動に何回かに分けてこの資金を活用していきます。これらのプロジェクトや活動は、ロータリー財団の使命に結びついたものでなければなりません、6つの重点分野に限られるものではありません。

グローバル補助金を申請するためのDDFの使用については、引き続き、地区が決定します。グローバル補助金は、6つの重点分野に関連したプロジェクトや活動のために、財団から資金を上乗せするものです。地区は、提唱するグローバル補助金プロジェクトで扱う重点分野、ならびに毎年利用するDDFの金額を決定します。

スライド10

未来の夢はまた、他団体との協力関係を築くことによって、ロータリアンが行う社会奉仕活動をさらに充実させるものです。財団は、人材と財政の両面でロータリーのリソースを世界中で最大限に生かすと同時に、財団の使命遂行に他の団体にも協力してもらうこととなります。他団体と協力することの財団にとっての利点には、コストの共有、補助金による支援、専門的知識、提唱活動におけるサポートが得られることなどがあります。

スライド11

未来の夢には、このほかにも重要な目的があります。それは、財団を簡素化し、補助金の手続きを迅速に行うことです。

「新地区補助金」と「グローバル補助金」という2種類の補助金に限定することで、財団は、人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チームの派遣と受入れに対して、同じアプローチを用いて資金を支給することができます。また、補助金の報告要件も合理化されます。

一方、ロータリアンにとっては、財団側による補助金支払いプロセスが早くなるという利点があります。事前の研修、改善された地区委員会構成、明確な資金管理、電子送金による支払いといった方法を積極的に導入することで、補助金申請書の提出時から補助金支給までにかかる時間が短縮されます。新しい補助金モデルの下では、グローバル補助金の申請に先立って、奨学生の場合は大学の入学許可の取得しておかなければならず、また職業研修チームの場合は、メンバーの選出ならびに受入地区からの支持表明書の受理を済ませておかなければならないため、申請書の提出から海外渡航までにかかる時間が短縮されることとなります。

スライド12

未来の夢にはこのほかにも、世界中で財団ならびにロータリアンの存在感とイメージを高めるという目的があります。

ロータリアンが重点分野において多大な成果を挙げ、主要な国際組織や企業との協力関係を築いていく中で、ロータリー財団は優れた財団として認識されるようになります。近い将来、ロータリー財団は、協力したい組織として他団体から真っ先に選ばれるようになるでしょう。

また、財団の新しい補助金の活動は、広報面でも、ポリオ・プラスと同様の大きな成果をもたらすことになるでしょう。こうして存在感が高まれば、ロータリーの会員数の増加につながるだけでなく、財団への寄付が増え、その結果、利用できる補助金も増えることになるのです。

スライド13

クラブと地区が財団からの補助金で実施する教育的活動と人道的活動のほぼすべては、グローバル補助金または新地区補助金のいずれかを通じて資金が提供されます。

では、「グローバル補助金」が支援するプロジェクトや活動とは、どのようなものでしょうか。いくつか例をご紹介します。

- 2国のクラブと地区が協力し、グローバル補助金からの上乗せ資金を活用して、10万人が住む都市部で、安全な水、衛生設備の設置、衛生に関する教育といった国際的プロジェクトを立案することができます。補助金は、設備や研修の費用に充てられます。ロータリアンが、地元政府や財団の協力組織と交渉し、補助金を使い尽くされた後にも、資金や研修、メンテナンスなどの支援を政府や地元団体が行っていくという了解を既に得ているため、このプロジェクトは、末永く持続していくことが可能です。
- 地区が、水管理の関連分野の修士課程に留学する奨学生を派遣します。奨学金留学の一環として、奨学生は、インドで3カ月間現地調査を行い、農村地帯における水供給設備を訪問します。奨学生はまた、現地に滞在中、新たな地下水を探し当てる技術や井戸を掘る技術などを人々に教えます。奨学生は、インドに持参した備品や設備を使います。グローバル補助金は、ビザの申請、財団補助金受領者のための地域オリエンテーションへの参加、航空券など、出発に先立って奨学生にかかった費用に充てられます。また、この補助金は、奨学生が海外に滞在中の費用（例えば、授業料、語学研修費、宿泊費、食費、現地調査に関連する費用、インド滞在中の生活必需品など）にも使うことができます。
- 財団の協力組織の支援の下で立案された国際的なマラリア・プロジェクトで蚊帳とマラリア治療を提供するため、クラブと地区がグローバル補助金を申請します。協力組織は監視活動や研修の面で援助します。一方、ロータリアンは、現場で蚊帳を配ったり、その使用方法について人々に研修を提供したりします。
- 10人の医師から成る職業研修チームが、さまざまな病を原因とする足の損傷が他国でどのように治療されているかを見学するため、海外に赴きます。活動の一環として、こうした損傷をもたらす病に苦しむ人々が共通に抱えている足の問題を予防するため、安価な履物の作り方を地元で指導するワークショップを開催します。そのための資材は、チームが現地で購入します。グローバル補助金は、ビザの申請、予防接種、財団補助金受領者のための地域オリエンテーションへの参加、語学研修、航空券など、出発に先立ってチームにかかった費用に充てられます。補助金はまた、海外滞在中にチームにかかった費用（例えば、宿泊費、食費、履物を作る資材、ワークショップの開催）に使うことができます。地区はまた、他国からの職業研修チームを受入れ、専門的な研修を受けてもらうための費用も、この補助金から賄います。

財団は、こうしたプロジェクトの結果を調べ、各重点分野において世界的にどれほどの影響がもたらされたかを検証します。結果は、ロータリアンおよび財団の協力組織に伝えられるほか、世界的に公表されます。

スライド14

では、「新地区補助金」が支援するプロジェクトや活動とは、どのようなものでしょうか。その例をいくつかご紹介します。

医者が海外へ赴き、クリニックでボランティア活動をします。海外渡航期間の長さや、誰を派遣するかを決定する裁量は、地区にあります。渡航の候補者には、ロータリアンではない人々、ロータリアン、ローターアクター、ロータリアンの配偶者などが考えられます。地区はまた、予防接種やビザ、ホテル宿泊費、プロジェクトに関連する備品の費用を負担するかどうかを決める柔軟性があります。

地元や海外の大学に留学するための奨学金。地区は、専攻分野、奨学金（留学）期間、対象年齢、候補者の資格などを決定することができます。奨学金は、旅費、授業料、教科書、その他の学費に充てられます。

青少年のための放課後プログラムに美術道具を寄贈します。単一のクラブが実施するものか、地区全体のプロジェクトとするかは、地区が決定することができます。また、補助金の配分額に応じて、道具の寄贈に充てる額を500ドル、あるいは15,000ドルとするかも、地区が決定できます。

他地区で発生した自然災害に応え、シェルターボックスのコンテナを送ります。地区は当初、生徒のための放課後プログラムに資金を配分していましたが、最近、自然災害が起きたことを知りました。こうした場合、当初の計画を変更して、災害救援に資金を充てることができます。

主としてクラブからの寄付で実施されている地区プロジェクトを支援します。地区内の複数のロータリー・クラブのロータリアンが協力し、僻村で水供給プロジェクトを実施しています。各クラブが自分たちで一部資金を調達しましたが、必要な設備を購入し、プロジェクトを完遂するには、あと少し資金が必要です。地区は、新地区補助金の一部をこれらのクラブに配分し、地区内で行われているこうした人道的プロジェクトの完遂に充ててもらいます。

現行の研究グループ交換と似た職業交換を、他地区と行います。地区は、独自の参加資格を定めて、交換の参加者を選考し、また、新地区補助金を利用して航空券や他の旅費を賄うことができます。さらに、地区は、新地区補助金で他地区からの交換チームを受け入れることもできます。

新地区補助金を利用したこれらの活動はすべて、財団の使命全般の枠内に当てはまるものであれば、認められます。

スライド15

財団は、多様性をもたらすために、さまざまな要素を考慮した上で、およそ100地区を選び、3年間の試験段階を設けてこの新しい補助金モデルを実施します。地区は、2009年5月15日までに試験段階への参加を申請しなければなりません。申請には、地区指導者および少なくとも地区内の3分の2のロータリー・クラブの承認が必要となります。

スライド16

試験地区内のロータリー・クラブは、

- 新しい補助金モデルを最終的に形づくる上で役割を果たすことができます。
- 2010-11ロータリー年度より、改善された補助金モデルを活動に利用することができます。
- 新しい補助金モデルの機能性について、RIに直接、体験に基づく意見や感想を提供できます。
- 新しい補助金モデルの利用方法について、地区と財団から特別な研修が受けられます。
- ほかの試験地区との協同活動に参加できます。
- 補助金モデルが世界中で実施されるころには、既に十分な経験を積んでおり、「ベテラン」の試験地区として、ロータリー・クラブとの協力を希望している、試験段階に参加しなかった地区のクラブから協力してほしいと希望される可能性が多くなります。

スライド17

試験（パイロット）地区内のクラブにとっては、次のような懸念があります。

- 補助金に関する新しい規則と指針を学び、これに適応する必要があること。
- 2010年の初めに地区が実施する新しい補助金モデルに関する研修会に出席する必要があること。
- 試験段階中、新しい補助金モデルに予期せぬ変更が加えられる可能性があるため、柔軟な姿勢と辛抱強さを示す必要があること。
- 3年間は終始、試験段階に参加し続ける意志が必要であること。
- 試験地区以外の地区にあるクラブと協力したくても、大規模な国際的プロジェクトのためのグローバル補助金をこのために利用できないこと。

スライド18

2010年7月1日から2013年6月30日までの試験段階に、試験地区は、以下の方法で現行の財団プログラムに参加することができます。

- 新地区補助金を利用すれば、地元または海外で、試験地区と非試験地区のいずれとも協力できます。
- 新地区補助金またはグローバル補助金を通じて、奨学生や職業研修チームを海外に派遣できます。
- 国際親善奨学生と研究グループ交換チームを受け入れることができます。ただし、これらの奨学生やグループが試験地区の資金によって支援されていないことが条件となります。
- グローバル補助金では、地区財団活動資金 (DDF) と用途指定の現金寄付に対し、財団から国際財団活動資金 (WF) を受領することができます。

スライド19

これまでの30年間に、ロータリー財団は飛躍的に成長し、設立当初は想像もできなかったような数々の偉業を成し遂げました。この期間の成功と、学んだ教訓、そしてロータリアンからの意見を基に、未来の夢計画は、財団が未来に向けて力を蓄え、前進していくための画期的な方法を提供していくものです。未来の夢計画の試験段階は、新しい補助金モデルをさらに練り上げ、ロータリアンのニーズに合ったものに仕上げていくとともに、使命を果たすために財団がリソースを最大限に利用していく機会です。クラブと地区からのご支援があれば、このビジョンは現実のものとなるでしょう。「ロータリーの未来はあなたの手の中に」あります。

スライド20

ロータリー財団の未来の夢計画に関する説明は以上です。未来の夢計画と試験段階に関する詳細は、RIのウェブサイト (<http://www.rotary.org/ja/AboutUs/TheRotaryFoundation/FutureVision/Pages/ridefault.aspx>) をご覧いただけましたら幸いに存じます。